

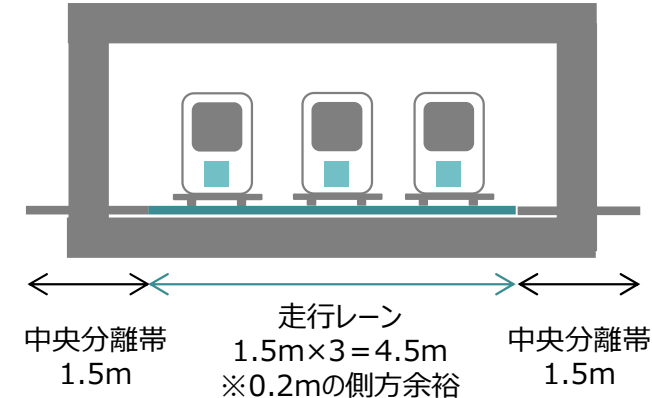
道路構造カルテの作成について

道路構造カルテの作成

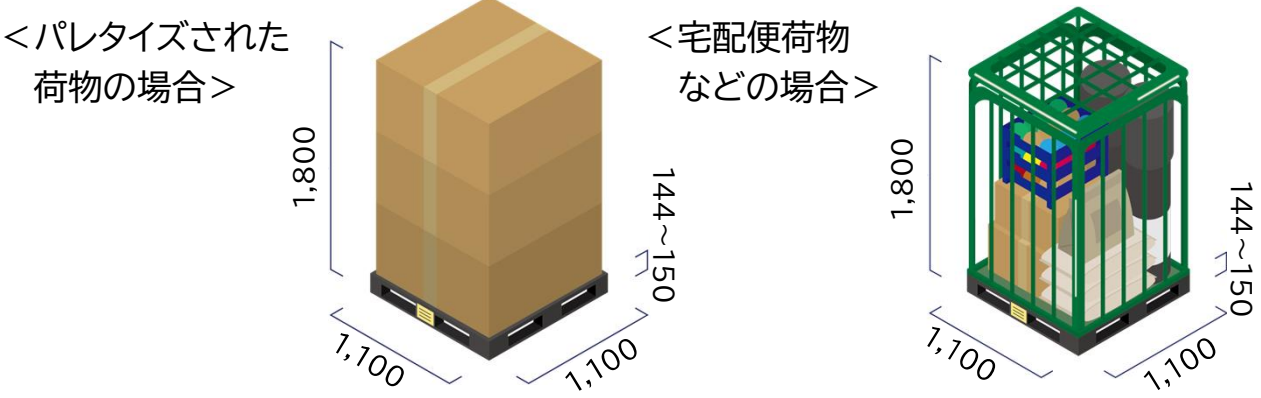
自動物流道路の実装に向け、具体的なルート・構造の議論を行うため、東名・新東名・名神・新名神高速道路について、条件を設定のうえ、既存の道路構造や周辺環境を整理した道路構造カルテを作成。

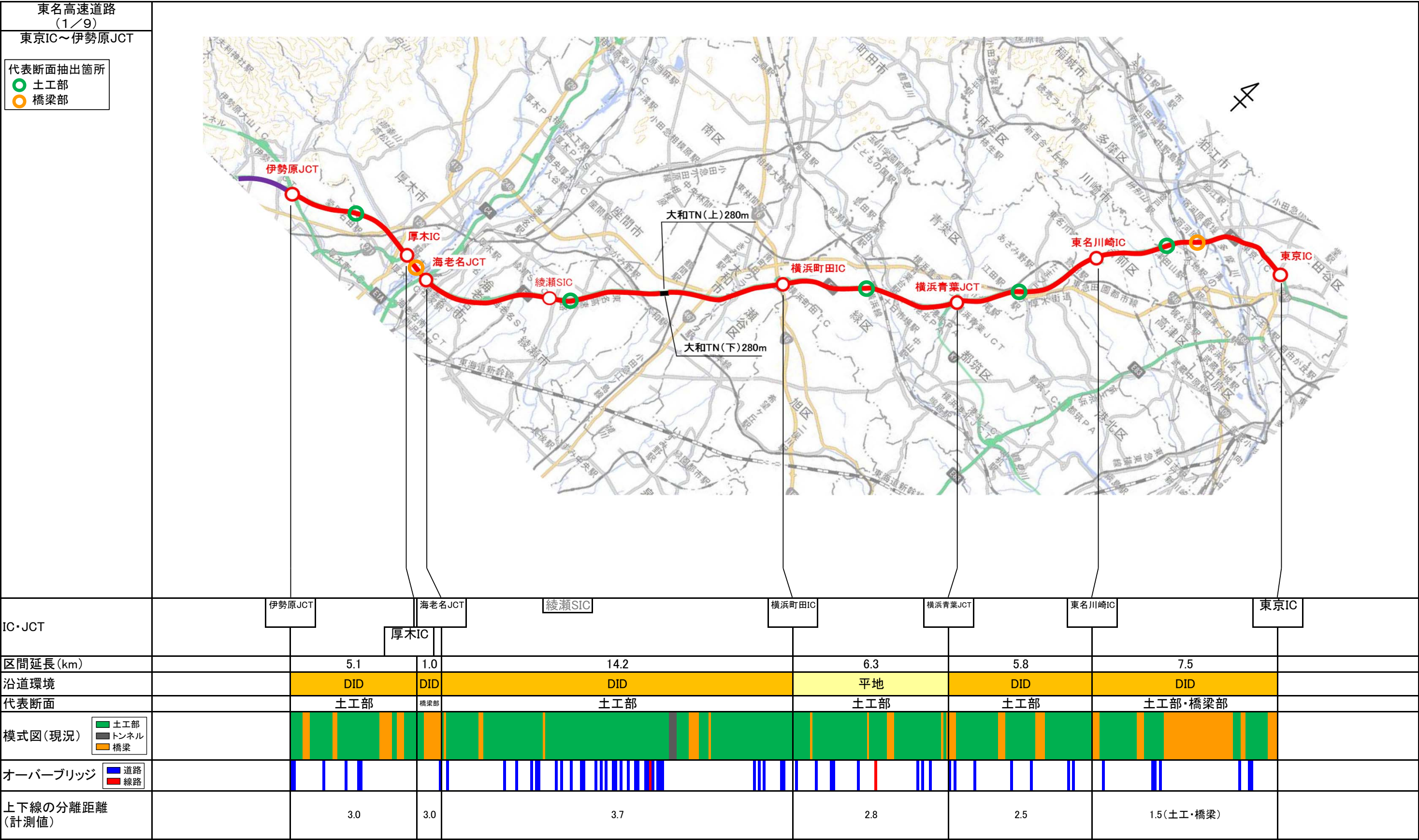
条件	考え方
設置箇所	・地上部については、車道の中央部に設置することを想定 ・地下部については、既存高速道路もしくはその周辺に設置することを想定
車線構成	・荷物は1.1m×1.1mサイズのパレットを想定し、1車線あたりの幅員は1.5m(側方余裕を0.2mずつ確保)とする ・車線数は、バッファリングレーンを考慮し、3車線として検討する
構造物	・カート等の機能や維持管理を考慮して、地上部では屋根付き構造とする ・構造の必要幅員は、一般的なボックスカルバートの側壁厚さ(0.5m)とそれぞれの側方余裕を0.5m確保し、合計1.5mを確保する
道路構造/延長	・トンネル位置・延長は、トンネル標識を確認して整理 ・橋梁位置・延長は、全国道路施設点検データベースを参考に整理(50m以上の橋梁を対象) ・土工部の延長は、道路交通センサスでのIC間延長からの差分で整理 ⇒連続的に模式図で整理
沿道環境	・道路交通センサスより、DID地区、平地、山地の区分を整理
オーバブリッジ	・航空写真を確認し、道路と鉄道に区分して整理
上下線の離隔	・IC間の代表断面において、航空写真より計測

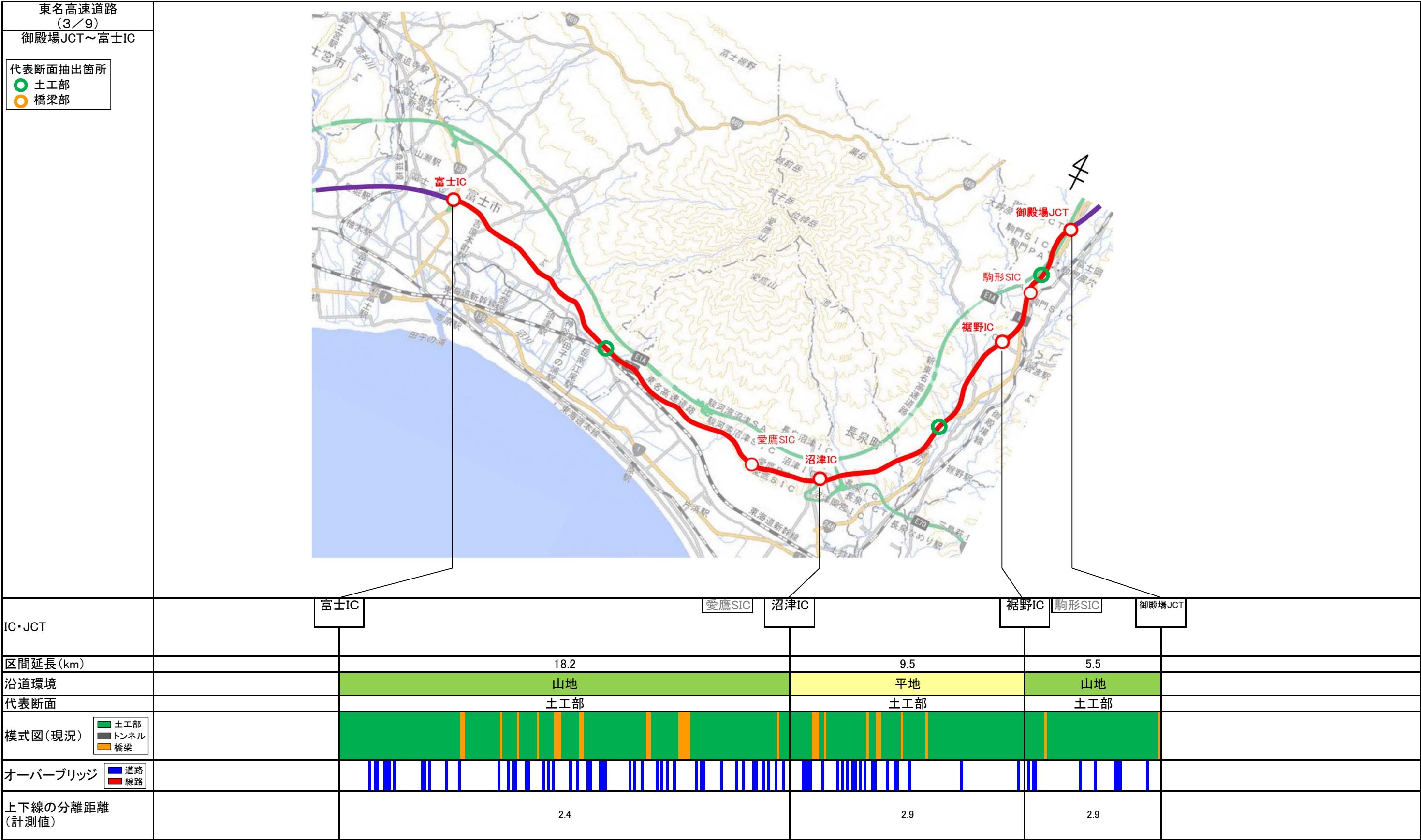
■想定される自動物流道路の幅員構成イメージ

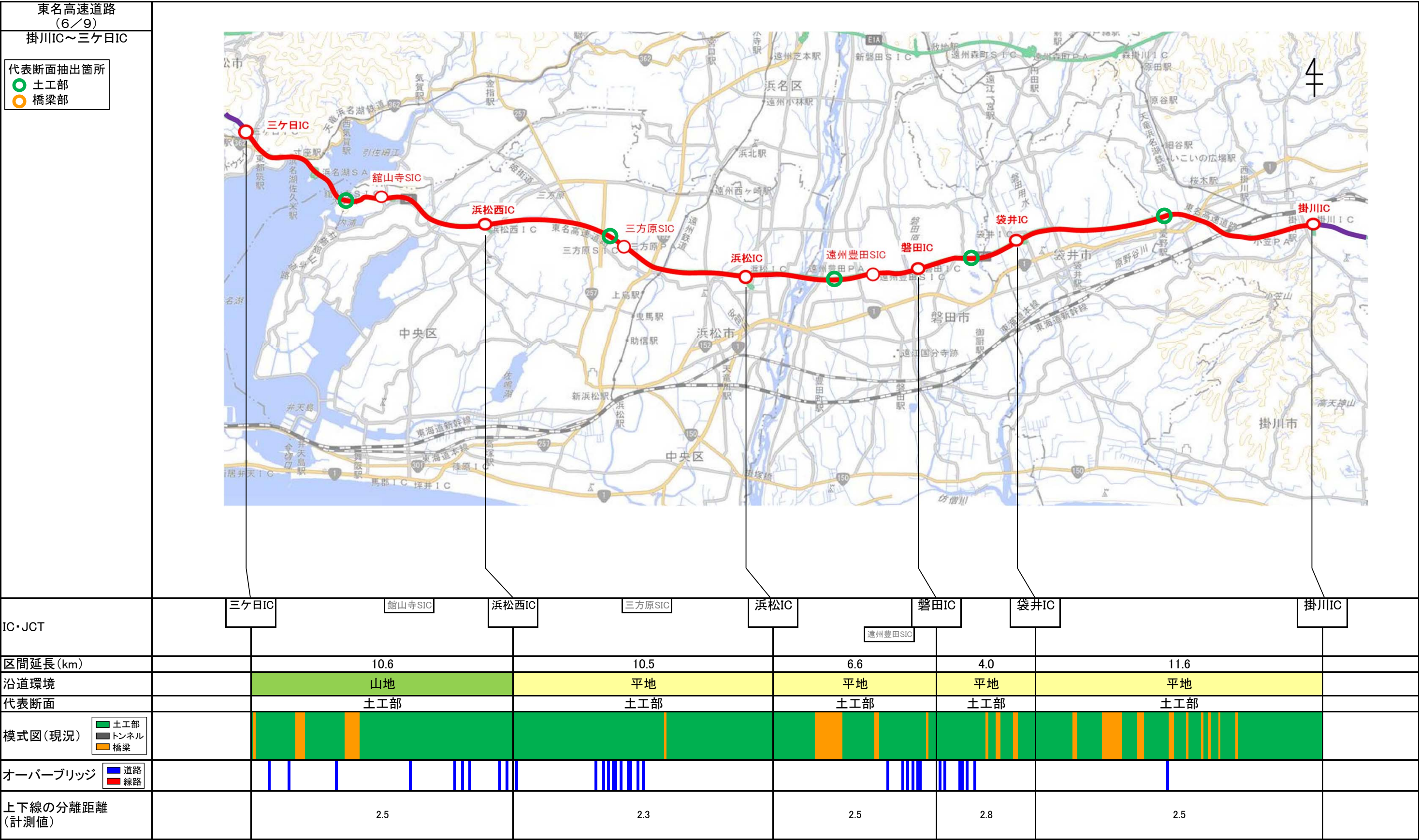


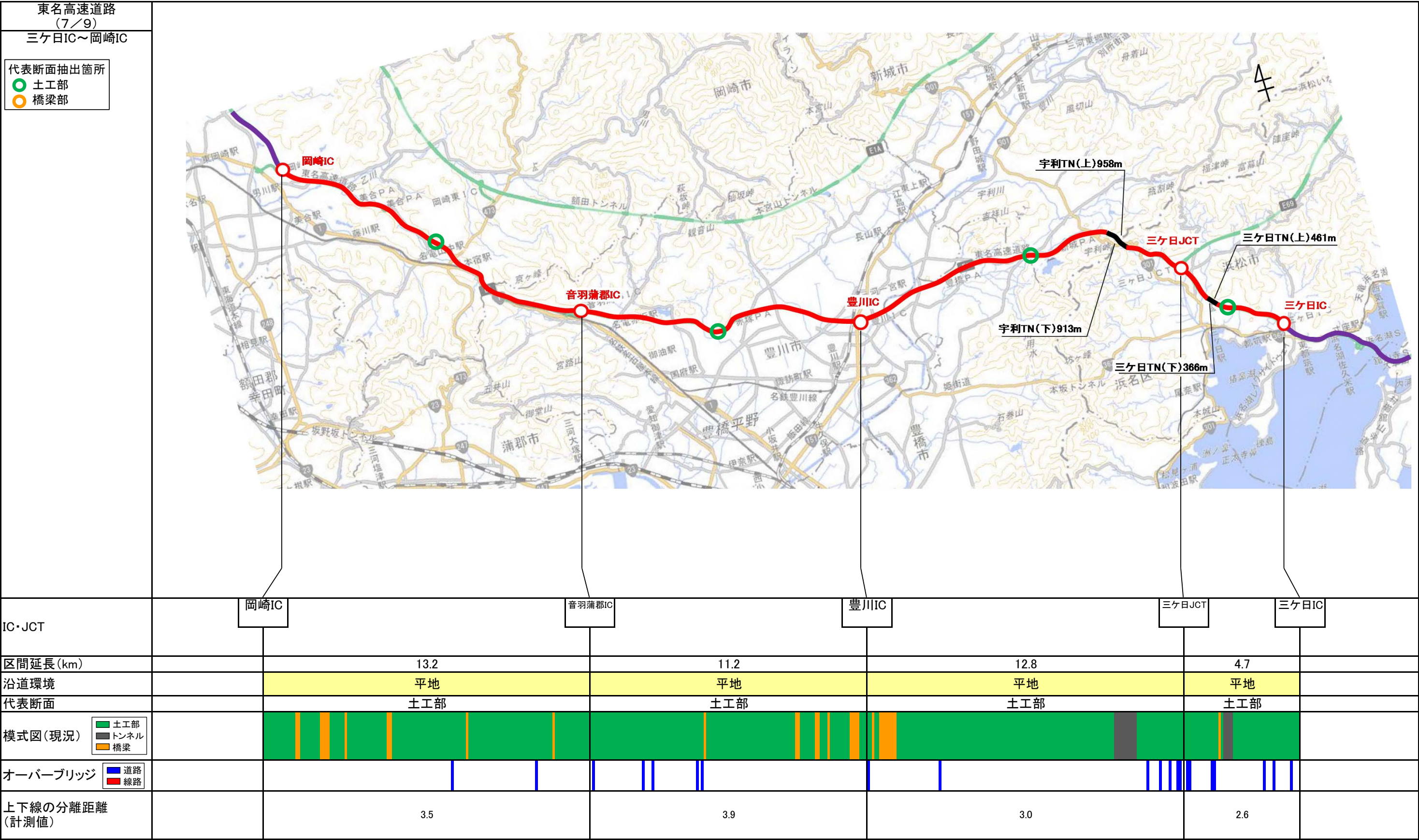
■荷物の規格イメージ(案)

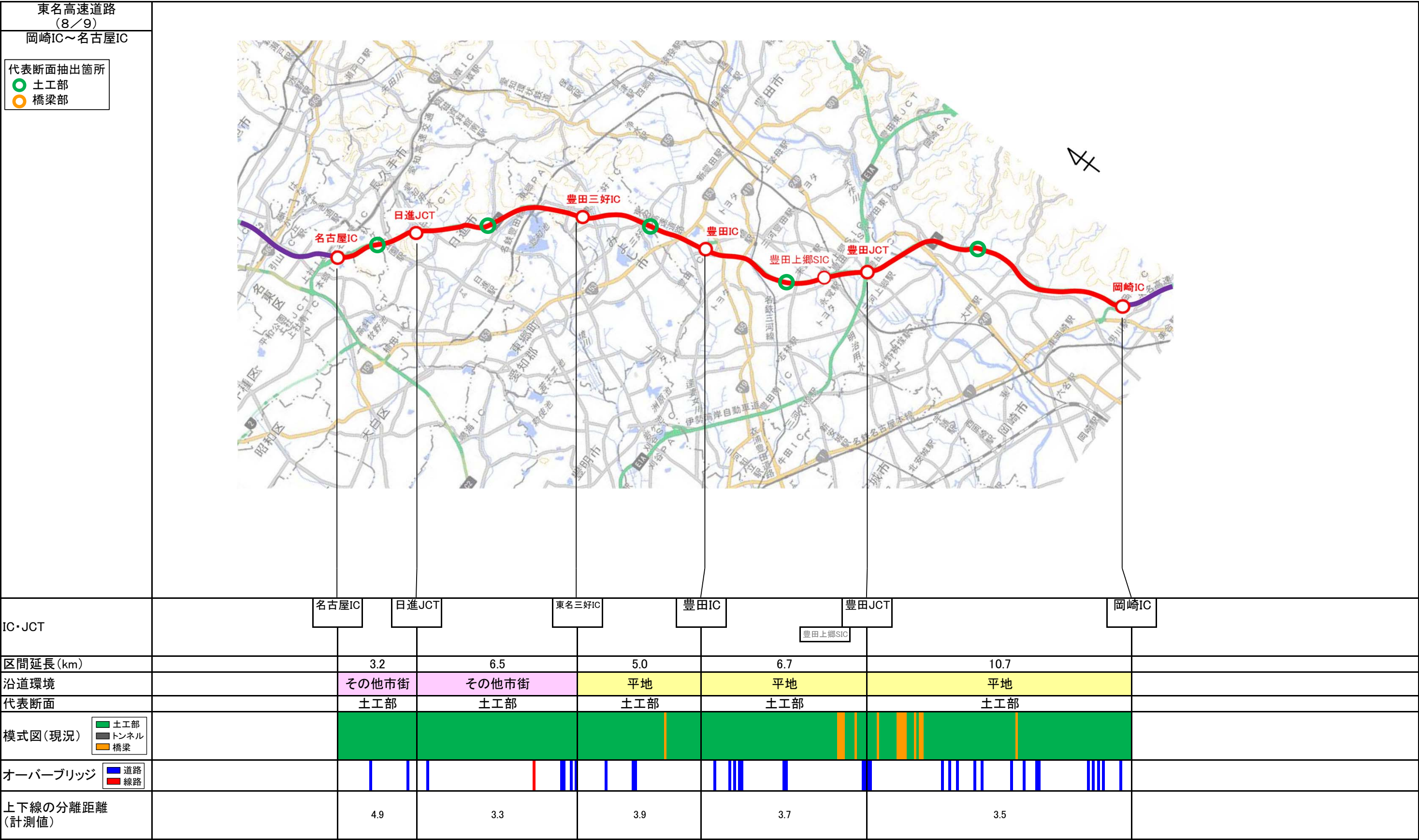


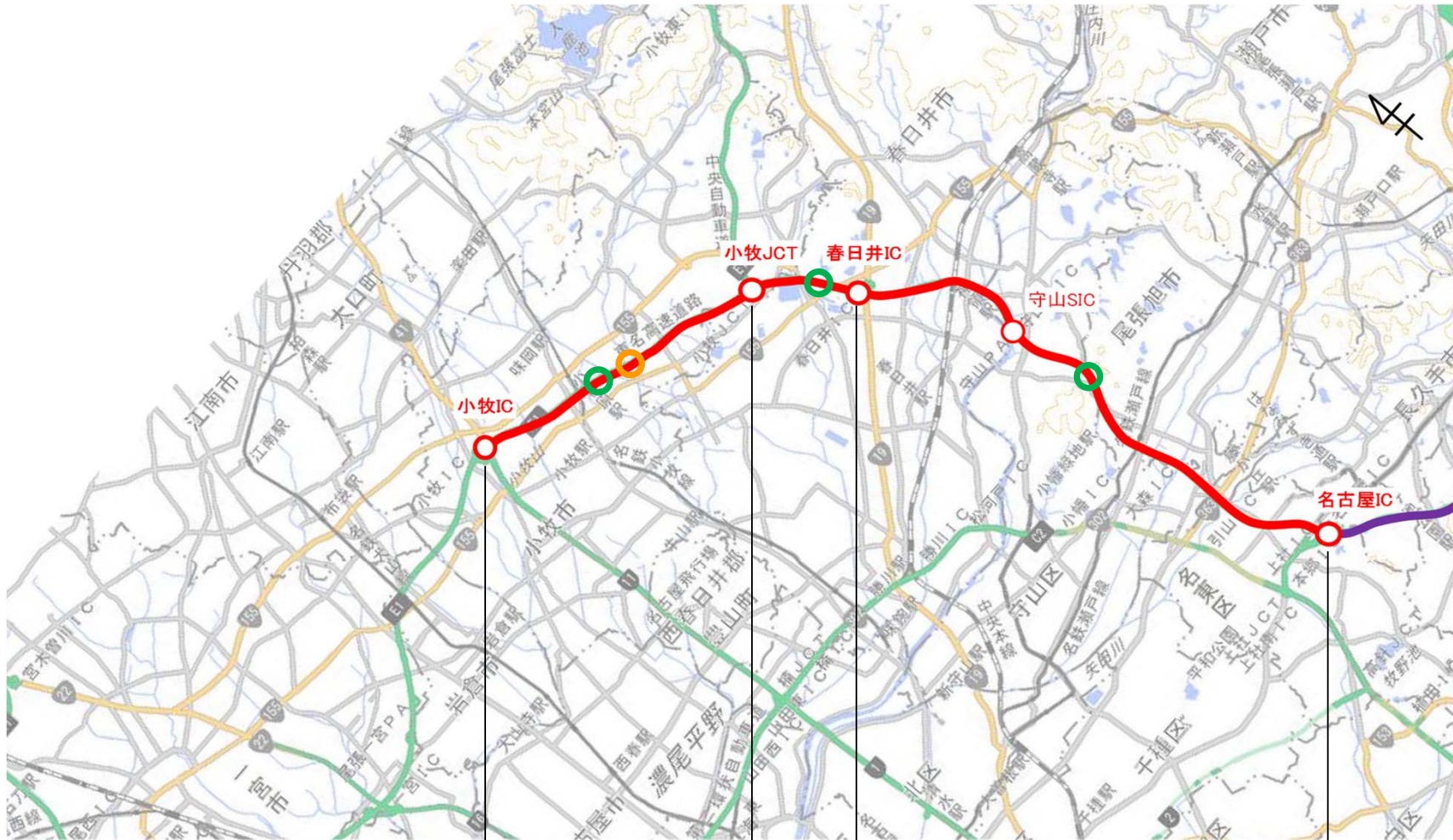
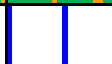






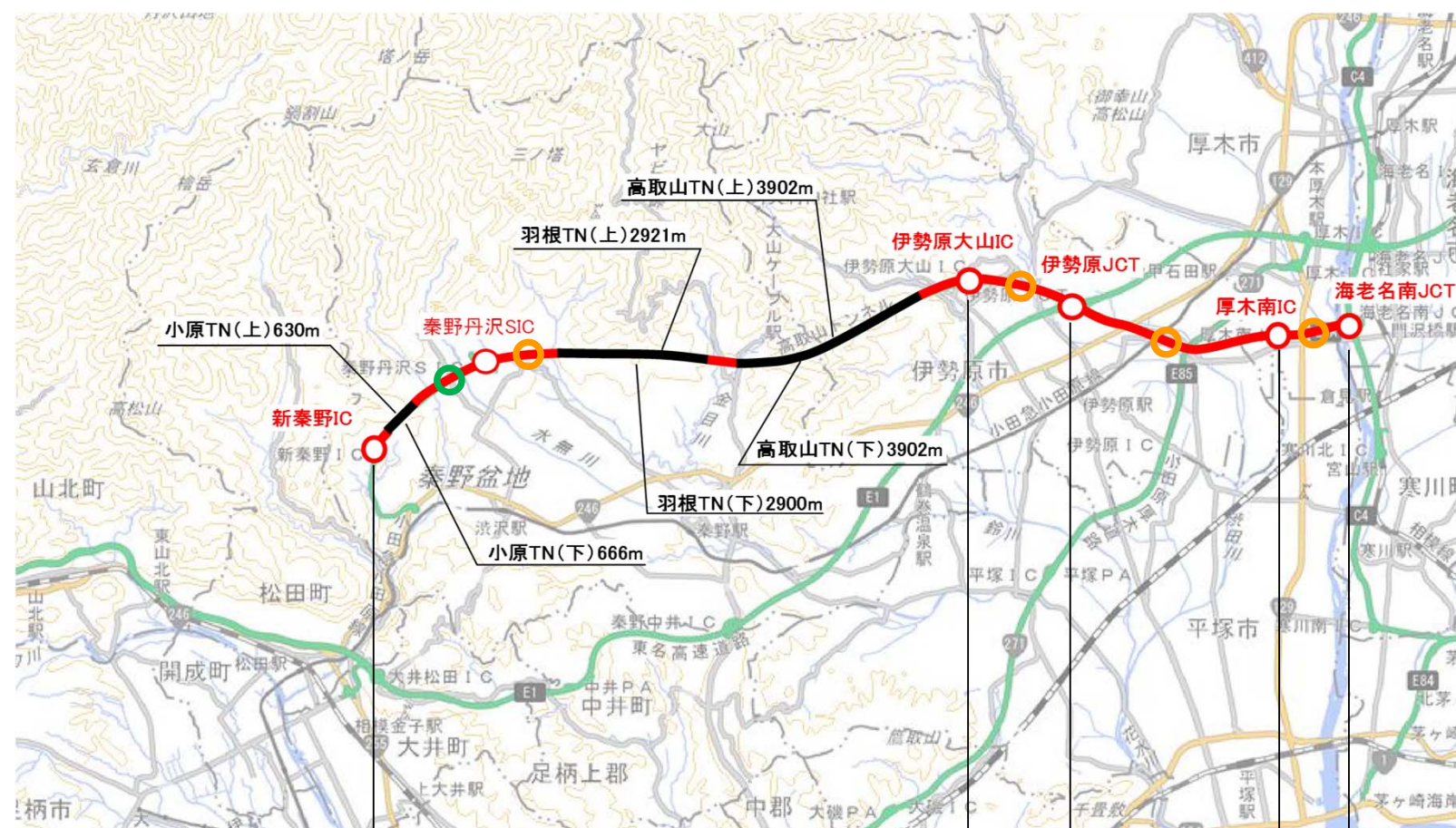




東名高速道路 (9/9)		名古屋IC～小牧IC				
代表断面抽出箇所 ● 土工部 ● 橋梁部						
IC・JCT		小牧IC 小牧JCT 春日井IC 守山SIC 名古屋IC				
区間延長(km)		6.9 2.2 12.1				
沿道環境		その他市街 その他市街 その他市街				
代表断面		土工部・橋梁部 土工部 土工部				
模式図(現況) ■ 土工部 ■ トンネル ■ 橋梁		  				
オーバブリッジ ■ 道路 ■ 線路		  				
上下線の分離距離 (計測値)		2.9(土工) 2.3 6.2				

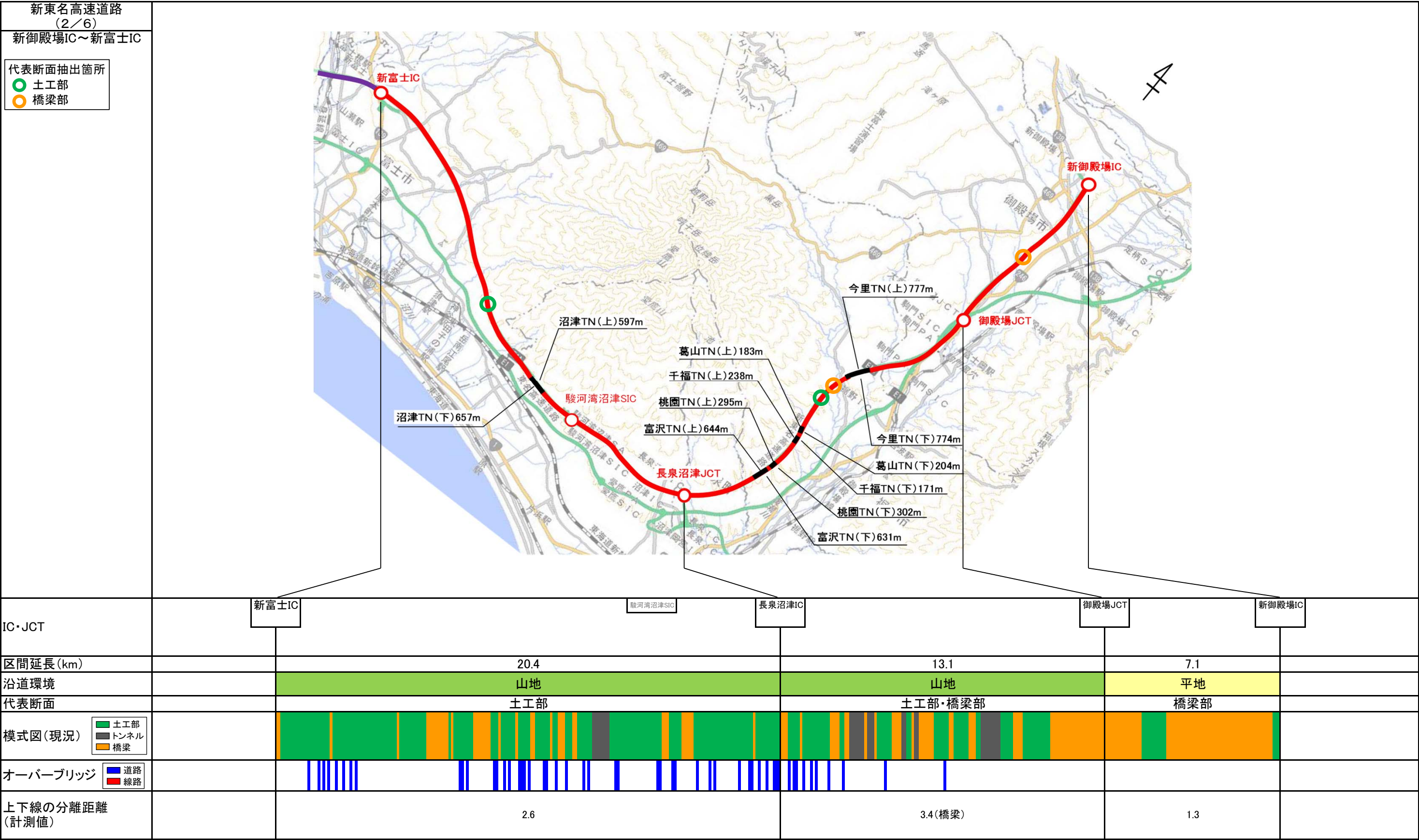
新東名高速道路
(1/6)
海老名南JCT～新秦野IC

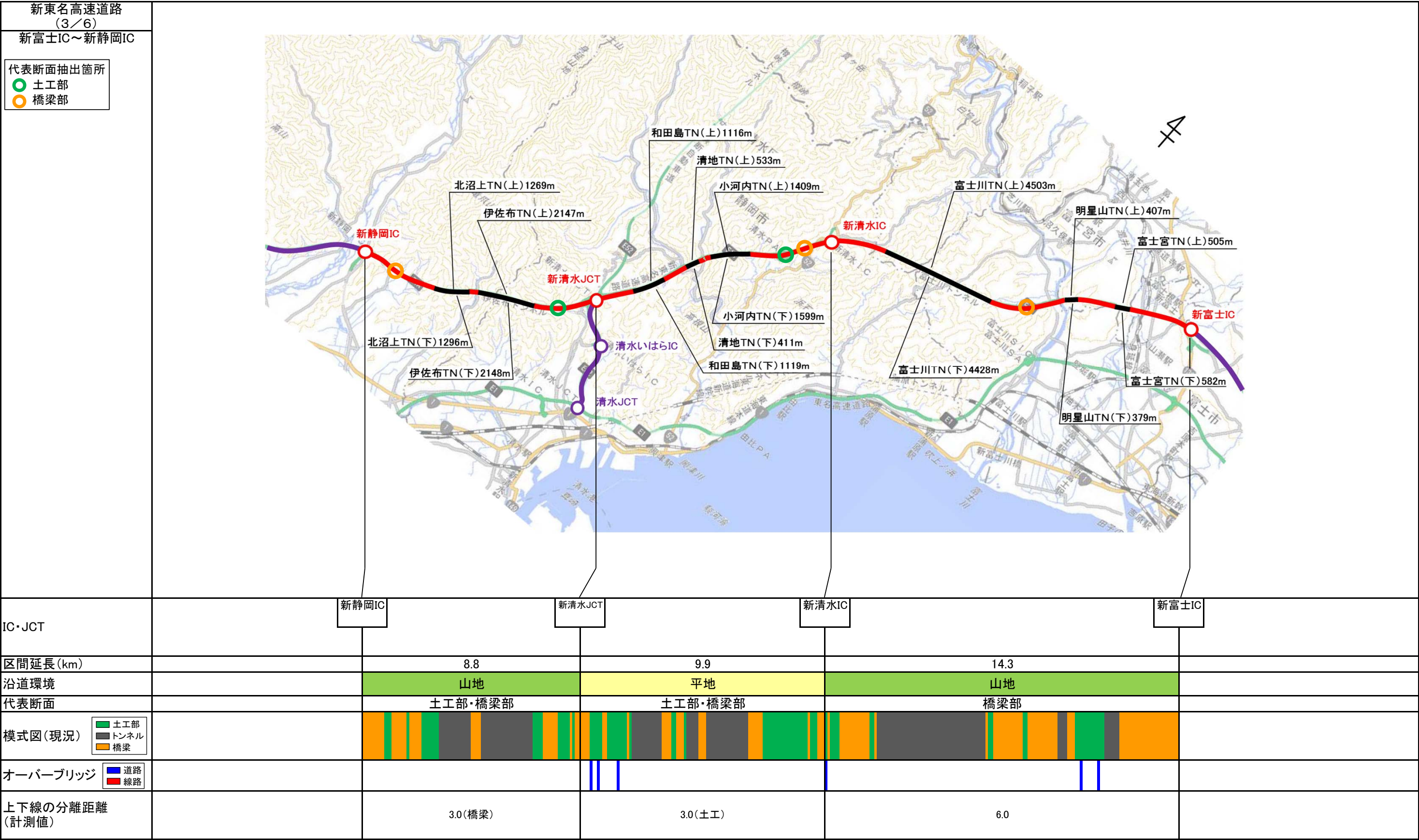
代表断面抽出箇所
 土工部
 橋梁部

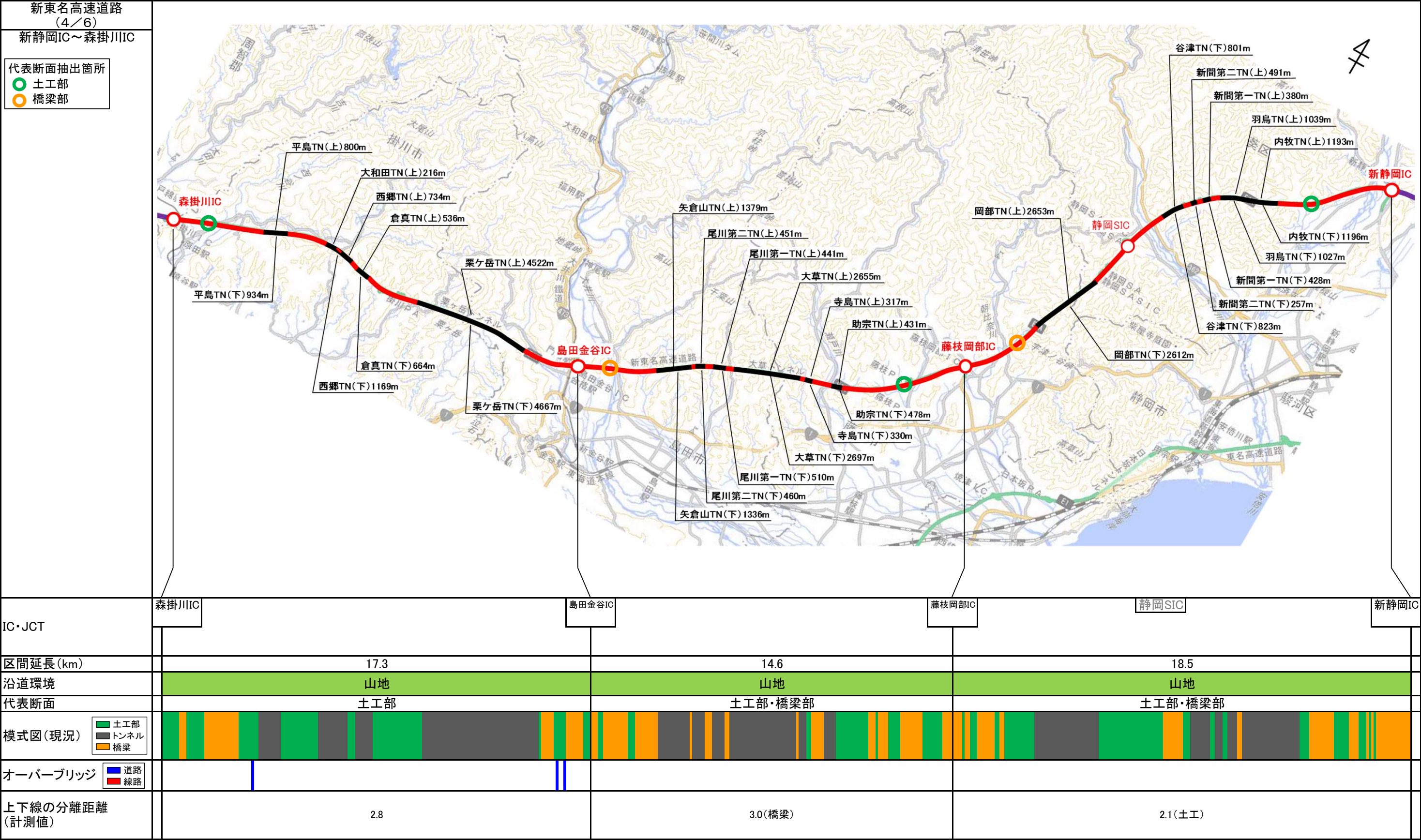


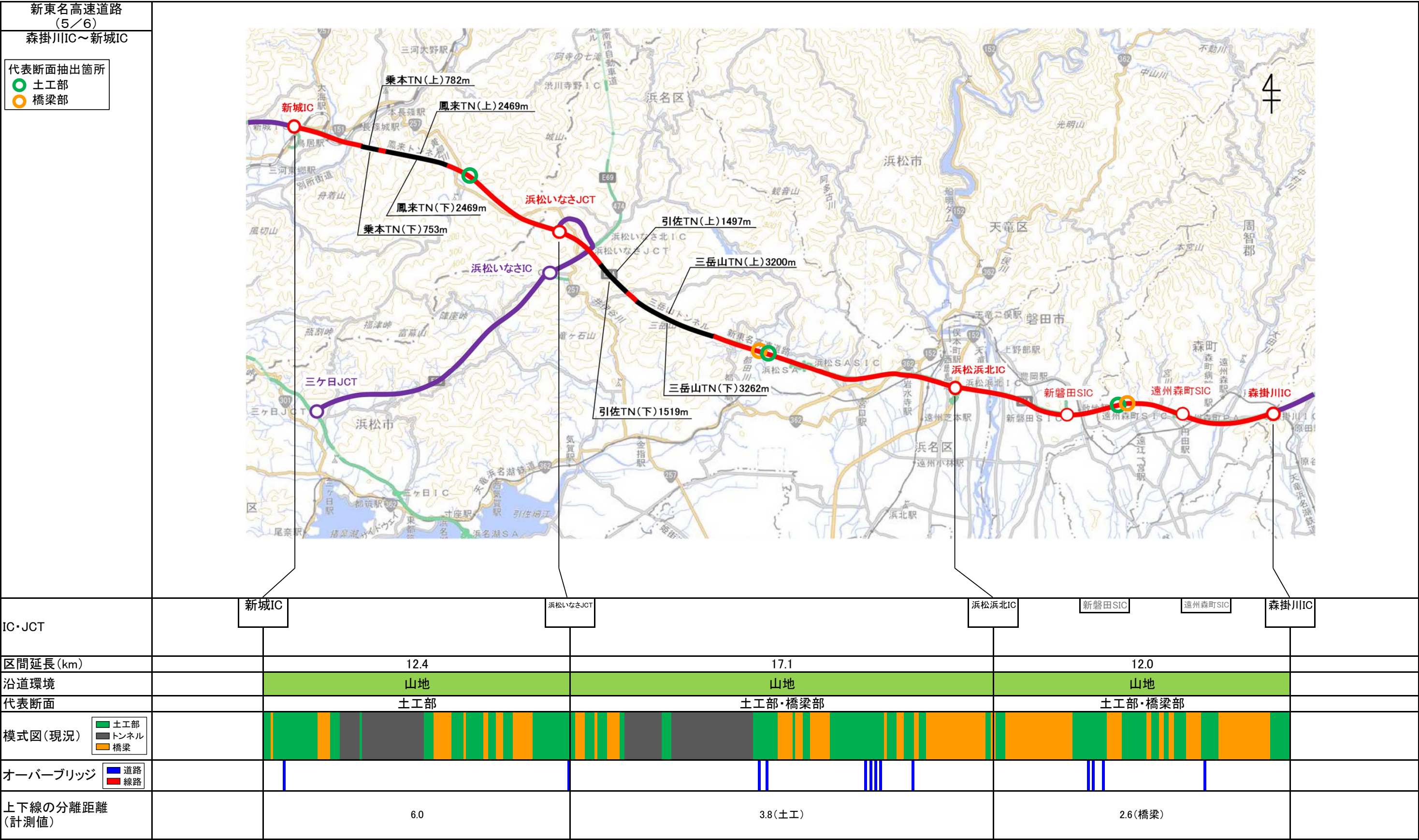
4

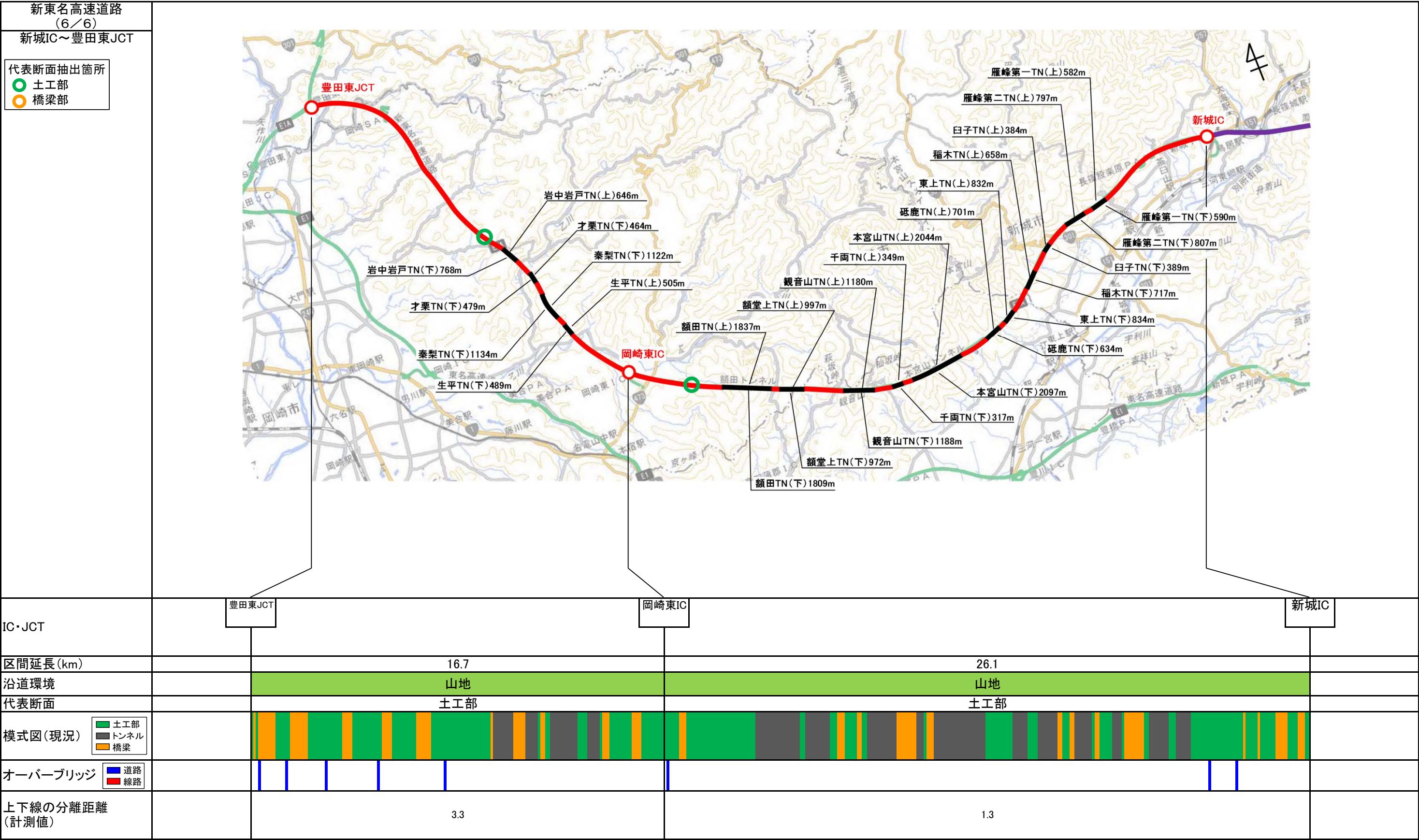
IC・JCT		新秦野	秦野丹沢SIC	伊勢原大山IC	伊勢原JCT		海老名南JCT
区間延長(km)		13.0			2.4	4.6	1.5
沿道環境		山地			DID	DID	DID
代表断面		土工部・橋梁部			橋梁部	橋梁部	橋梁部
模式図(現況)	土工部 トンネル 橋梁						
オーバークリッジ	道路 線路						
上下線の分離距離 (計測値)		8.6(土工)			14.3	1.0	2.9

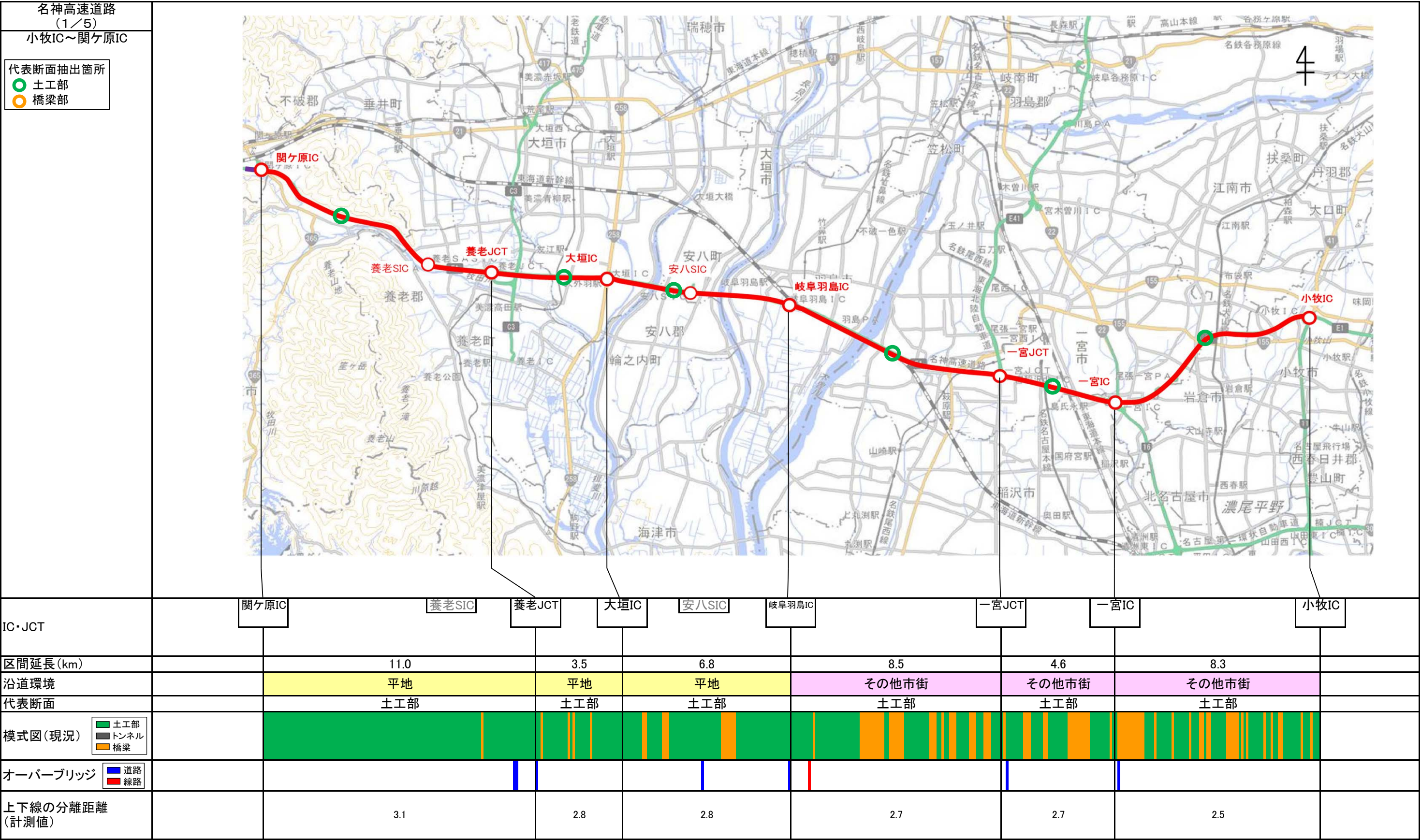


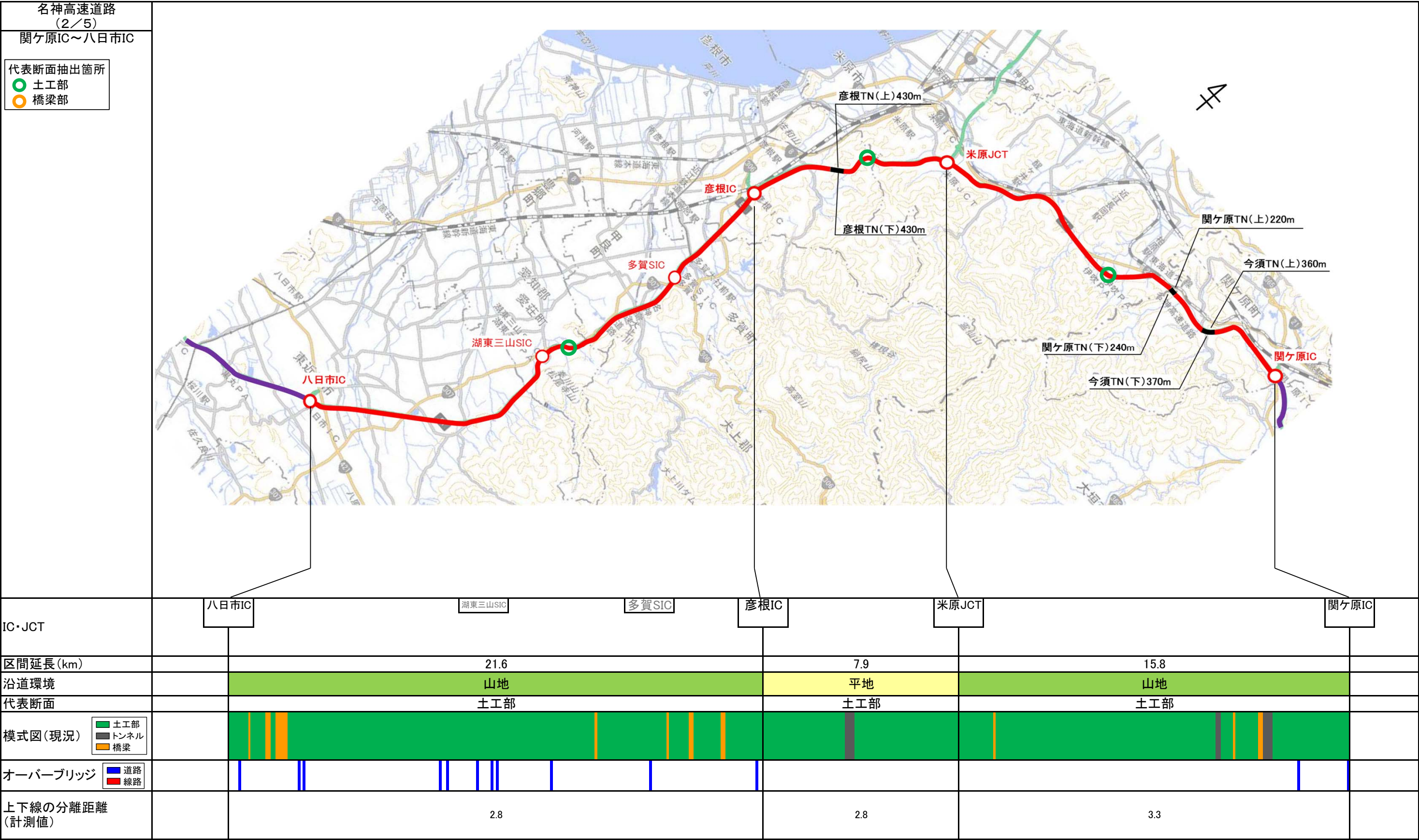


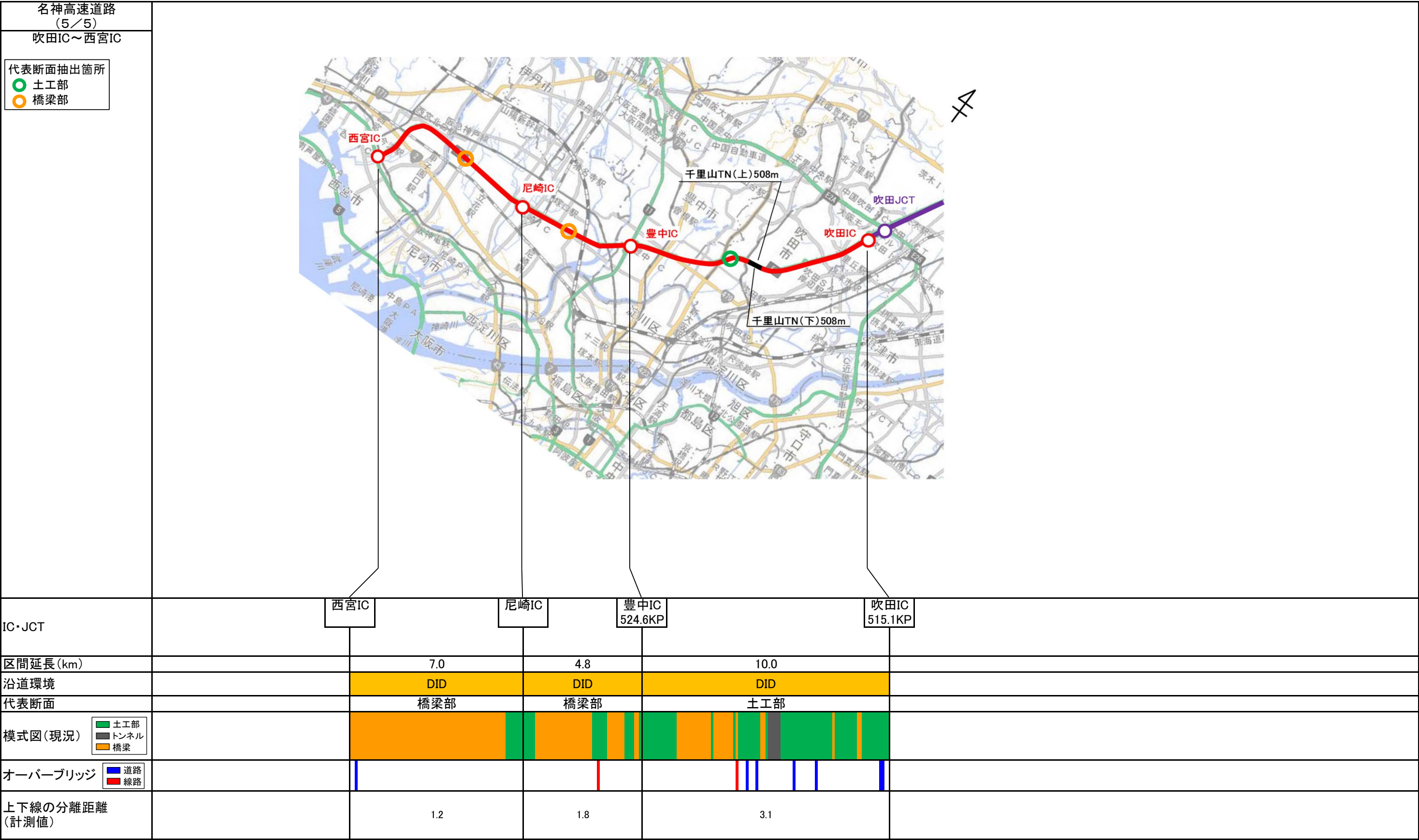


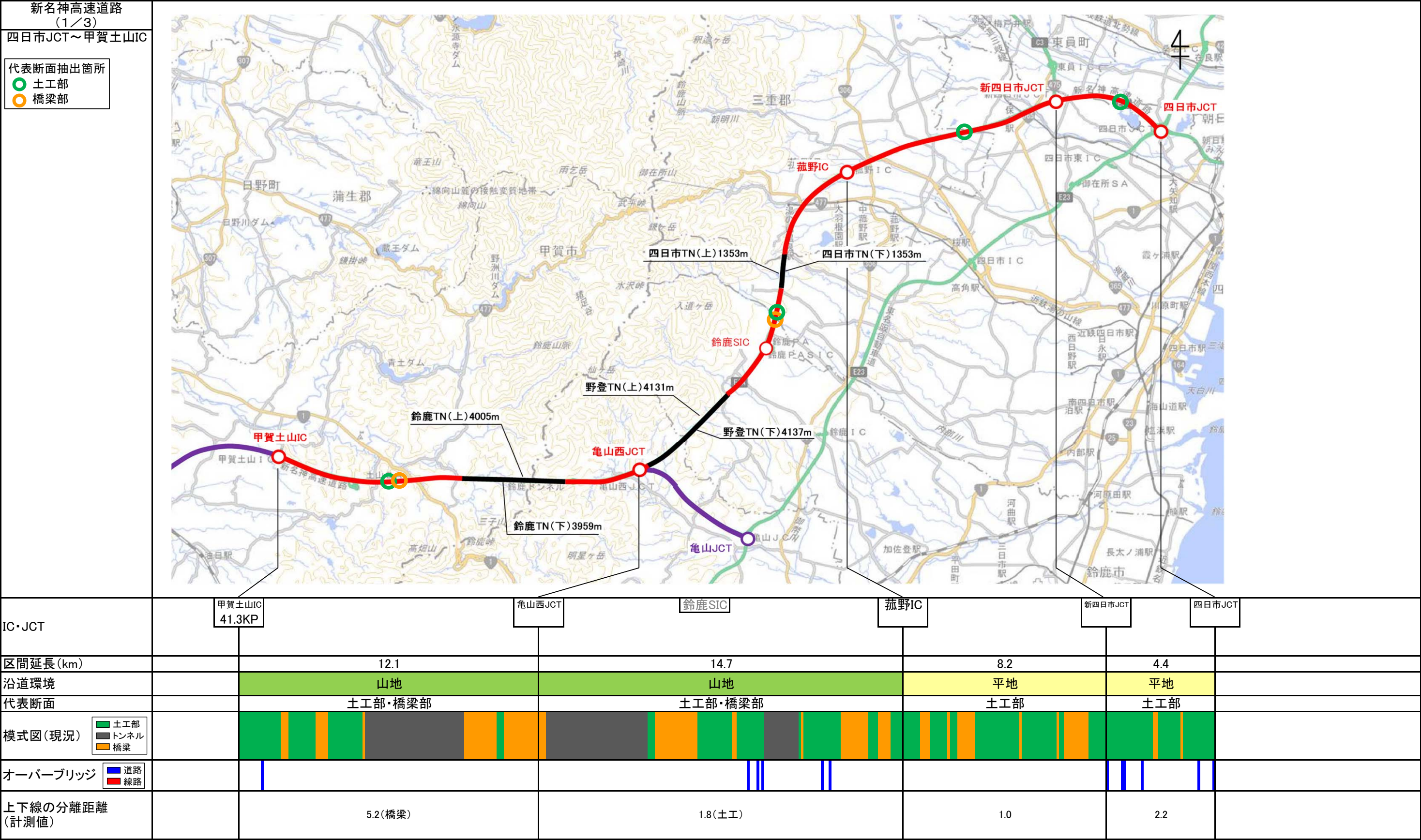


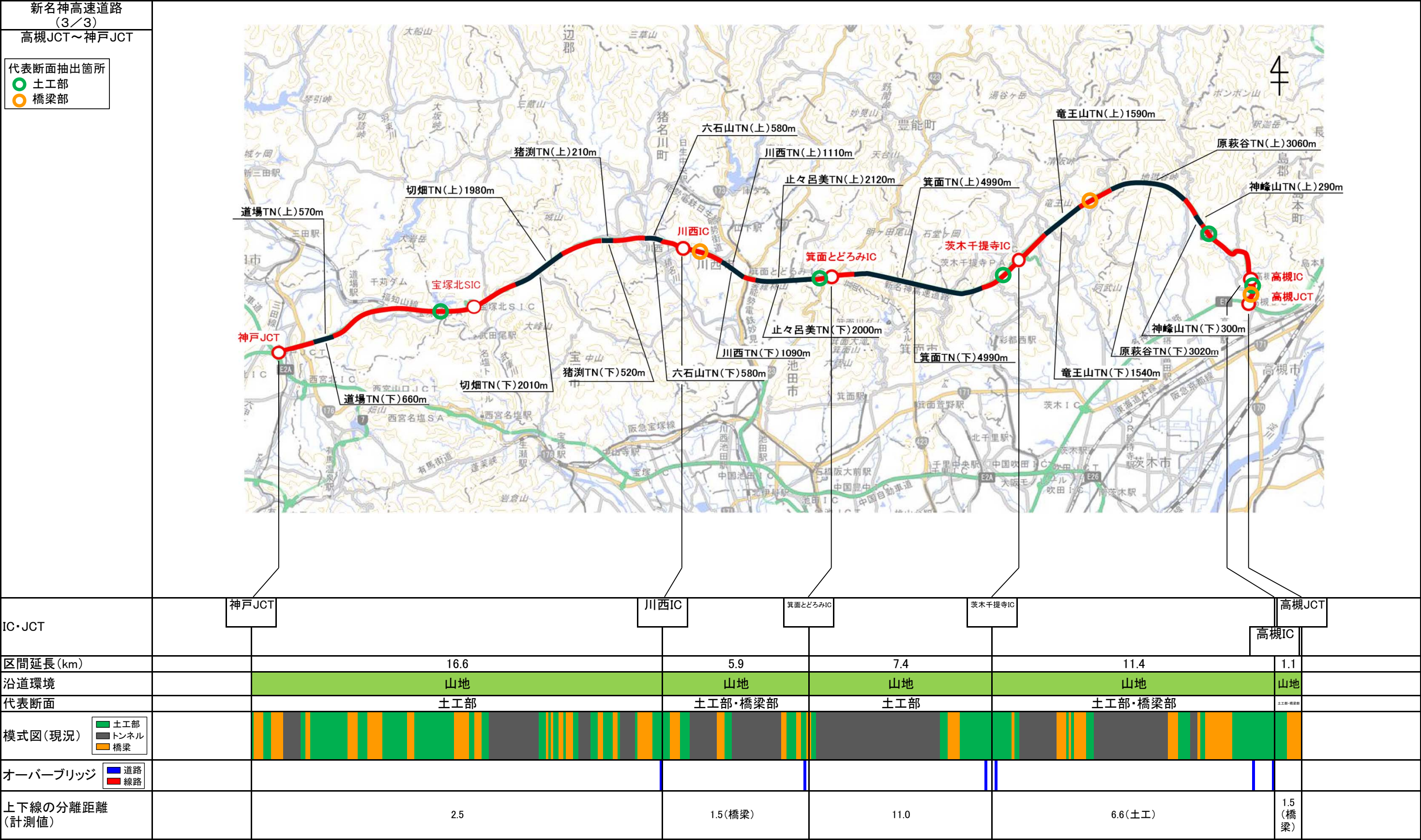










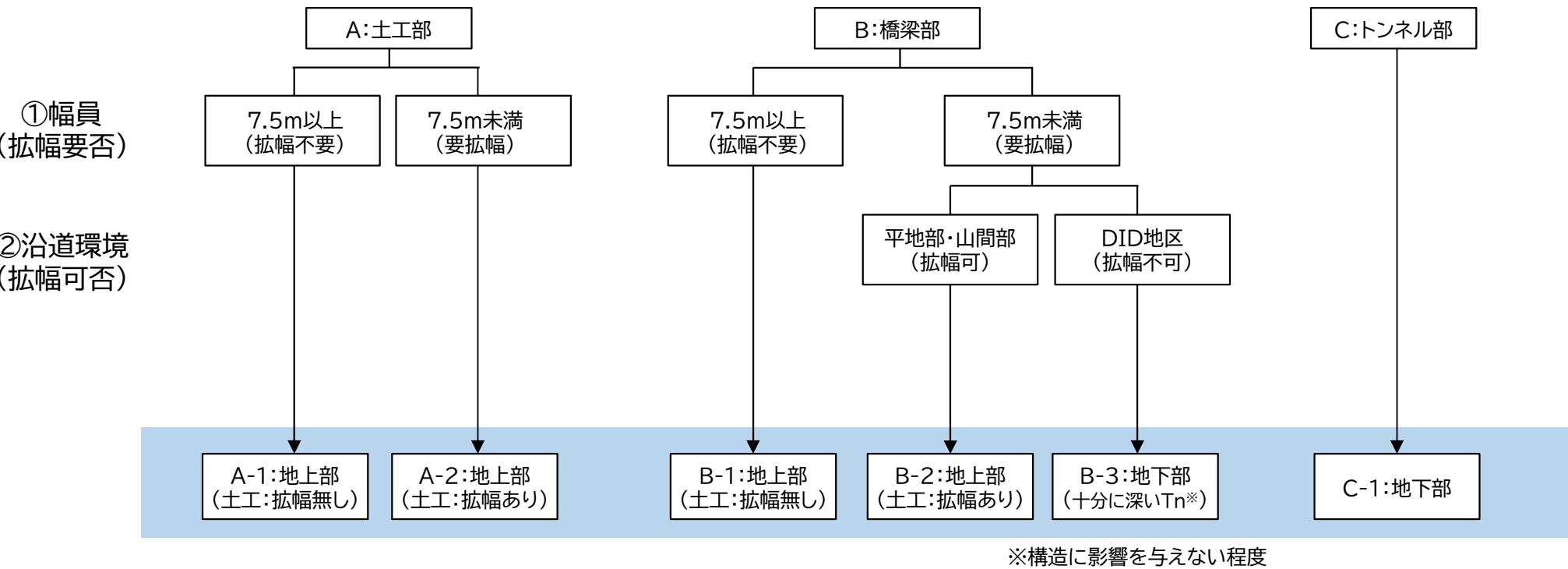


整備形態案の検討

作成した道路構造カルテをもとに、幅員、沿道環境の状況等を踏まえて、各区分ごとに最適と考えられる整備形態の案を検討。

■整備形態案検討フロー

道路構造区分毎の評価



【その他】

前後の区分の各構造物同士の接続、本線と拠点との接続、搬送機器の性能等についても考慮した選定が必要。

■ご意見をいただきたい論点等

- 整備形態検討にあたり、道路構造カルテに追加で必要と考える情報等がありましたら御教示ください。
- 整備形態案検討フローについて、ほかに考慮すべき条件等がありましたら御教示ください。